

コントラアングルハンドピース

Ti-Max X

ティーマックスXC

X35L/X35/X70L/X70/X75L/X75
X55L/X55/X57L/X57

認証番号: 219ALBZX00013000

取扱説明書

MADE IN JAPAN

⚠ 注意

- ・使用する前にこの取扱説明書を読み、各部の機能をよく理解してから使用を開始してください。この取扱説明書はご使用になる方がいつでも見ることのできる場所に保管してください。
 - ・患者の安全を第一に考え、使用には十分に注意を払ってください。
 - ・有資格者による歯科領域の治療（X35、X70、X75シリーズ：根管治療、X55シリーズ：歯間部の研磨、X57シリーズ：歯面研磨）にのみ使用してください。
 - ・ガタ、振動、音、温度（発熱）に十分注意して、予め患者の口腔外で作動させ点検を行ってください。その時少しでも異常を感じたら、すぐに使用を中止し販売店へ連絡してください。
 - ・使用中、少しでも異常を感じたら使用を中止して、販売店までご連絡ください。
 - ・分解、改造は絶対に行わないでください。
 - ・強い衝撃を与えないでください。特に落下させないように注意してください。
 - ・仕様に記載された先端器具（ファイル、チップ、ラバーカップ等）以外は使用しないでください。
 - ・駆動側の回転速度を仕様に記載された許容入力回転速度以上にしないでください。また、先端器具製造業者が指定する回転速度に駆動源（モーター）を調整して使用してください。
 - ・ハンドピースや先端器具の着脱は、駆動側のモーターの回転が完全に停止してから行ってください。
 - ・ご使用の際、過度の力をハンドピースに与えないでください。
 - ・必ず注水を行いながら治療を行ってください。発熱や故障の原因となります。（X57シリーズを除く）
 - ・安全、健康のため保護眼鏡、防塵マスク等を着用してください。
 - ・機器及び部品は、必ず定期的に点検を行ってください。
 - ・酸化電位水（強酸性水、超酸性水）、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りは行わないでください。
 - ・ハンドピース内のボールベアリングは消耗品です。破損した状態で使用すると発熱し、火傷のおそれがあります。
 - ・長時間使用していない状態で再び本製品をご使用の際は、ガタ、振動、異音、発熱に注意して空回転させ、異常のないことを確認してからご使用ください。
 - ・本製品の保守点検安全に対する責任は、ユーザー側にあります。
- (X35L、X35、X70L、X70、X75L、X75)
- ・曲がった、傷の付いた、変形した、または規格に合わないファイルやリーマーは使用しないでください。これらのファイルやリーマーを使用しますと回転中に折れたり、飛散するおそれがあります。
 - ・回転中、プッシュボタンが押されないように注意してください。チャック部の故障につながるおそれがあります。
 - ・装着しようとするファイルやリーマーのシャンクは、いつもきれいにしてください。ごみなどが内部に入ると、故障の原因になります。
 - ・X35シリーズ、X75シリーズにはマイクロモーター、X70シリーズにはエアモーターの使用をお勧めします。
 - ・ファイルまたはリーマーのシャンクはJIS T5504-1の軸部形式1に規定されたもの以外は使用しないでください。（ハンドファイルを除く）
 - ・ファイルは各患者ごとに使い捨てにするかまたは数回の使用で交換してください。使用回数が多いと、金属疲労によって破切する場合があります。
- (X57L、X57)
- ・研磨用ペースト使用後は、ペーストの内部での固着による故障を防ぐために、使用後すぐに洗浄を行ってください。その際、ヘッド先端より出るオイルに内部に残留していたペースト等の異物が混ざらなくなるまで注油洗浄を行ってください。
 - ・絶対に逆回転で使用しないでください。逆回転で使用するとラバーカップ、ブラシが飛び出しけがをする恐れがあります。
 - ・口金がしっかり取り付けられていることを定期的に確認してください。口金部にゆるみのある場合、口金レンチでしっかりと締め直してください（口金は左ネジです）。

1. 仕様

型式	X35L	X35	X70L	X70	X75L	X75
一般的名称	ストレート・ギアードアングルハンドピース					
販売名	ティーマックス XC					
使用ファイル	エンジンファイル/ハンドファイル			エンジンファイル		
ファイルの動き	60° ツイスト			360° 回転		
許容入力最高回転速度	40,000min ⁻¹					
ギア比	10 : 1 減速		64 : 1 減速		128 : 1 減速	
スプレー方式	シングルスプレー					
照明	グラスロッド	—	グラスロッド	—	グラスロッド	—

型式	X55L	X55
一般的名称	ストレート・ギアードアングルハンドピース	
販売名	ティーマックス XC	
使用チップ	エバチップ/プロフィンチップ/オーソファイル(シャンク径φ2.36~2.40mm)※金属シャンクは不可	
チップの動き	上下往復(ストローク幅1.4mm)	
許容入力最高回転速度	40,000min ⁻¹	
ギア比	4 : 1 減速	
スプレー方式	シングルスプレー	
照明	グラスロッド	—

型式	X57L	X57
一般的名称	ストレート・ギアードアングルハンドピース	
販売名	ティーマックス XC	
使用先端器具	PMTCAタッチメント	
先端器具の動き	360° 回転	
許容入力最高回転速度	40,000min ⁻¹	
ギア比	16 : 1 減速	
スプレー方式	—	
照明	グラスロッド	—

2. ハンドピースとモーターのセット方法

ハンドピースとモーターを取り付ける際は、ハンドピースの位置決めを、モーターの位置決めに合わせてまっすぐ差し込みます。
取り外しは、モーター前部とハンドピース後部をしっかりと持ってまっすぐ引き抜きます。

⚠ 注意

- ・ハンドピースの着脱は、駆動側のモーターの回転が完全に停止してから行ってください。
- ・Eタイプ(JIS T 5904に規定されたジョイントを有する)、且つ許容入力最高回転速度以下のモーターと接続してください

3. 先端器具の着脱方法

3-1 ファイルの着脱方法 (X35、X70、X75シリーズ)

3-1-1 エンジンファイルの取り付け (X35シリーズ)

(クイックフィットアダプター使用)

プッシュボタンを押しながらファイルを奥にあたるまで差し込み、プッシュボタンを離してください。(図1)
装着後、ファイルが完全に把持されているか確認してから使用してください。

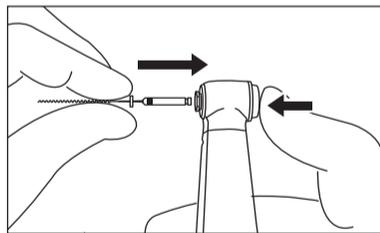


図1

3-1-2 エンジンファイルの取り付け (X70、X75シリーズ)

ファイルをヘッドの軸へ差し込み軽く回し半月部分が合う位置を捜してください。位置が合うと一段奥に入り込みます。さらに強くファイルを押す事によりカチッという音と共にファイルがロックされます。

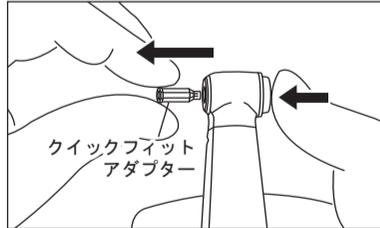


図2

3-1-3 ハンドファイルの取り付け (X35シリーズ)

(クイックフィットアダプター不使用)

プッシュボタンを押しながらヘッドよりクイックフィットアダプターを取り外します。(図2)
再度プッシュボタンを押してファイルを奥にあたるまで差し込み、プッシュボタンを離してください。(図3)
装着後、ファイルが完全に把持されているか確認してから使用してください。

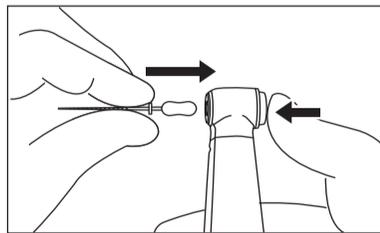


図3

3-1-4 取り外し

プッシュボタンを押しながらファイルを取り外します。

⚠ お知らせ

- ・工場出荷時はヘッドにクイックフィットアダプターが装着されています。(X35シリーズ)
- ・ハンドファイルの柄はφ3.8~4.1mmまで対応できます。(X35シリーズ)
適合するファイル：マニー、ピヤス、ジッペラー、コメット、マイジナー（ファイルの種類によっては適合しないものもあります。）

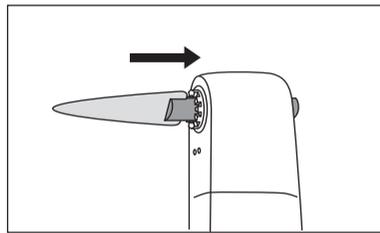


図4

3-2 チップ、オーソファイルの装着 (X55シリーズ)

3-2-1 エバチップの取り付け

チップをヘッドの軸へ挿入してください。

3-2-2 プロフィンチップ、オーソファイルの取り付け

チップまたはファイルをヘッドの軸へ挿入し、ご希望される角度に合わせた後、割り溝に合わせて、チップまたはファイルを溝に入るまで押し込んでください。(図4)

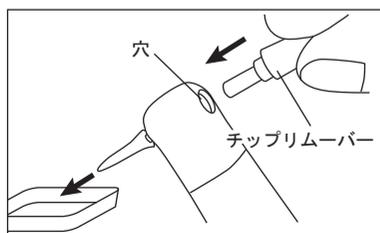


図5

3-2-3 取り外し

ヘッドの後部の穴にチップリムーバーを差し込み、チップまたはファイルを押し出します。(図5)

⚠ 注意

取り外す際にチップまたはファイルが落下するおそれがありますので、トレイ等でチップまたはファイルを受けることをお勧めします。

3-3 PMTCアタッチメント（ラバーカップ・研磨用ブラシ等）の着脱方法（X57シリーズ）

3-3-1 取り付け

ハンドピースをモーターに接続してください。ラバーカップ、ブラシをつまみハンドピースの回転軸にねじ部を差し込み、軽く締まるまでねじ込みます。（図6）装着後、ラバーカップ、ブラシが完全に把持されているか確認してから使用してください。

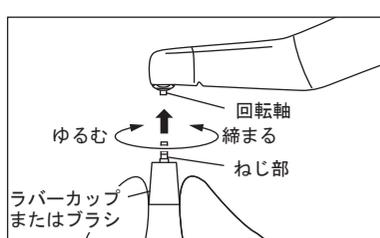


図6

3-3-2 取り外し

ハンドピースをモーターから取り外し、ハンドピース後部の軸部を固定した状態でラバーカップ、ブラシをしっかりとつまみ、図6のゆるむ方向へ回しゆるめます。

4. 使用前の点検について

使用前に下記の手順で点検を行い、異常がないことを確認してから使用してください。

- 1) ヘッドキャップ、口金（X57シリーズ）のゆるみの確認を行い、先端器具（ファイル、チップ、ラバーカップ等）を取り付けます。
- 2) 取り付けした先端器具の許容回転速度に回転数をあわせハンドピースを動作させ、先端器具のガタ、異常振動、異常音がないかを確認します。いずれかの異常があった場合は使用を中止し、販売店へ修理を依頼してください。
- 3) 上記の異常が見つからない場合は、ハンドピースをそのまま1分間動作させてください。ハンドピース停止後、ハンドピース表面に異常な発熱がないか確認してください。発熱があった場合は使用を中止し、販売店へ修理を依頼してください。
- 4) 全ての異常がないことを確認できましたら使用を開始してください。

5. 注油

注油は使用後、またオートクレーブ前には、必ずパナスプレープラスまたは弊社製自動注油システム（X57シリーズを除く）によって行ってください。

■パナスプレープラスによる注油（図7）

- 1) パナスプレープラスに、Eタイプスプレーノズルを強く差し込みます。
- 2) ハンドピースから、先端器具を取り外します。
- 3) Eタイプスプレーノズルをハンドピース後部へ差し込み、2秒間くらいスプレーします。

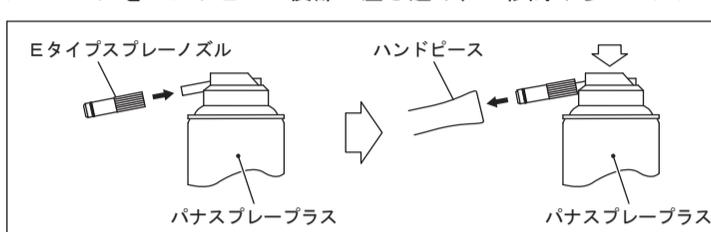


図7

⚠ 注意

- ・注油する際は、ハンドピースをしっかり押さえてスプレーの圧力によって飛び出さないように注意してください。
- ・スプレーは、ハンドピース先端よりオイルが出るくらい（2秒間くらい）まで行ってください。
- ・パナスプレープラスを、逆さにして使用しないでください。
- ・上記の注油洗浄を何度か行ってもオイルに汚れが混じる場合は、内部部品が消耗しているおそれがあります。販売店へ修理を依頼してください。

■弊社製自動注油システムによる注油

弊社製自動注油システムを使用する場合、自動注油システムの取扱説明書をよく読んだ上で、使用してください。

⚠ 注意

取り外したハンドピース先端から出るオイルに汚れがにじんでいる時は、再度メンテナンスを行ってください。

6. 滅菌

🧼 洗浄消毒器の使用が可能です

弊社では、滅菌についてはオートクレーブ滅菌を推奨します。

初めてご使用になるとき、または各患者ごとの治療が終わりましたら、先端器具を取り外し下記のとおりオートクレーブ滅菌を行ってください。

■オートクレーブ滅菌方法

- 1) 表面の汚れをブラシ（金属製は不可）等で払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿等で拭き取ります。
- 2) パナスプレープラスにより注油します。（5. 注油を参照）
- 3) 滅菌バッグに入れ封印します。
- 4) 以下の条件で滅菌を行います。

滅菌器のタイプ	クラス N	クラス B
滅菌温度	132°C	134°C
滅菌時間	15分以上	3 - 18分
乾燥時間	30分以上	30分以上

- 5) 使用するまで滅菌バッグにいれたまま、清潔な状態を保てる場所に保管してください。

⚠ 注意

- ・PVA（ポリビニルアルコール）等の水溶性の接着成分を含む滅菌バッグは使用しないでください。滅菌中に溶出した接着成分が製品内部に入り込み、回転不良（固着して作動しない）等の不具合を起こす場合があります。
- ・薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌しますと、表面が変色したり内部の部品に影響を与えたりします。オートクレーブ滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
- ・酸化電位水（強酸性水、超酸性水）、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りは行わないでください。
- ・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオンを含んだ空気などにより悪影響が生ずるおそれのない場所に保管してください。
- ・滅菌直後は高温となっていますので触れないようご注意ください。
- ・洗浄消毒器をご使用の際は、洗浄消毒器の取扱説明書に従って正しくご使用ください。

7. グラスロッド端面の清掃

グラスロッド端面に切削粉等が付着した場合は、綿棒等に消毒用アルコールをしみ込ませ、ていねいに拭き取ってください。

⚠ 注意

グラスロッド端面を清掃するときに、針や刃物等を使用すると傷がつき光の透過率が下がります。もし傷等がついて暗くなった場合は、販売店までご連絡ください。

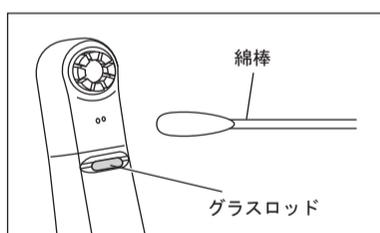


図8

8. 超音波洗浄について（X57シリーズ）

ハンドピースのヘッド内部に侵入したペーストを除去するため、1日の作業終了後には以下のように口金部分の超音波洗浄を行ってください。

- 1) ハンドピースから、ラバーカップ、ブラシを取り外します。
- 2) 付属の口金レンチで口金はずし（図9）、口金及び軸部を超音波洗浄器で約5分間洗浄します。また、口金はずしたハンドピース部は、ハンドピース後部よりパナスプレープラスを差し込み洗浄します。（5. 注油を参照）
- 3) エアブローして水分を除去し、2) と逆の手順で組み立て、パナスプレープラスにて4～5秒間くらい注油してください。（5. 注油を参照）
- 4) オートクレーブ滅菌を行います。（6. 滅菌を参照）

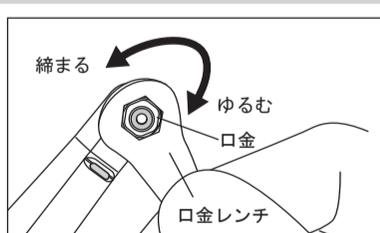


図9

⚠ 注意

- ・口金がしっかり取り付けられていることを定期的を確認してください。口金部にゆるみのある場合、口金レンチでしっかりと締め直してください（図9）。使用中に脱落する等のおそれがあります。
- ・エタノールや洗浄液等を使用しでの洗浄は行わないでください。変色や腐食のおそれがあります。
- ・ヘッド先端より出るオイルに内部に残留していたペースト等の異物が混ざらなくなるまで注油洗浄を行ってください。
- ・本製品は浸漬および超音波洗浄器で洗浄しないでください。（X57シリーズを除く）

9. 定期点検について

弊社では日常点検のほか、年に1度の定期点検を行うことをお勧めします。毎日使用される等、ご使用の頻度、環境によりましてはさらに短い期間で点検を行ってください。

なお、点検の際は販売店へご依頼ください。

